

ニュース



## 公立小中学校の耐震化予算 約 818 億円積み増しへ

政府は、公立小中学校の耐震化を推進するために、10年度予算の予備費から約 818 億円を積み増しする方針を発表しました。今回の予備費が充当されると約 4500 棟の耐震化工事が可能となります。工事は夏休みを中心に進められる予定です。(日刊建設工業新聞 6/18 より)



## 学校 7500 棟が震度 6 強以上で倒壊する恐れ

文部科学省が、約 12 万 4000 棟の全国公立小中学校校舎および体育館の今年 4 月時点の耐震性を調査しました。その結果、震度 6 強以上で倒壊する危険のある建物が 7500 棟残っていることがわかりました。耐震化が進んでいない都道府県は、①山口県 53%, ②広島県 53.3%, ③茨城県 55.7%の順です。文部科学省では、平成 24 年までにこれらの建物耐震工事を行うよう、来年度以降、引き続き予算要求することとしています。(7/21 文部科学省発表資料より)

## 現場レポート

UR 都市機構様の奈良北団地が竣工いたしましたので、現場レポートを掲載いたします。

(下記資料提供飛鳥建設(株)様)

### 本工事の特徴

- ①住人が暮らしながらの耐震改修工事
- ②空き住戸を制震補強専用の部屋として使用

### 耐震改修の背景

奈良北団地 1,2,4,5 号棟は、昭和 46 年に竣工した SRC 造 11 階建の片廊下型住宅です。耐震診断の結果、住宅階の耐震指標(Is 値)は、0.3 未満であり速やかに耐震改修を必要とし、設計施工プロポーザルの結果、トグル制震構法が採用されました。平成 21 年 7 月より耐震工事に着工し、平成 22 年 6 月に完了しました。

### 建物・工事概要

所在地：神奈川県横浜市青葉区奈良町  
 対象住棟：奈良北団地 1,2,4,5 号棟 (4 棟)  
 用途：共同住宅  
 構造：1~4 階 SRC 造、5~11 階 RC 造  
 施主：(独)都市再生機構神奈川地域支社

号棟名	延床面積 (㎡)	戸数	トグル基数
1号棟	9794.62 ㎡	174 戸	34 基
2号棟	3594.69 ㎡	70 戸	17 基
4号棟	8167.51 ㎡	182 戸	37 基
5号棟	7468.84 ㎡	172 戸	37 基





耐震補強の市場規模についてご紹介します。

■耐震補強の市場規模について（建設経済レポートNo.54（2010年5月）より抜粋）

◇耐震性が確保されていない建物

	戸数	棟数	総延床面積
戸建住宅等	5,217,000	5,027,000	637,147,000
共同住宅等	1,916,000	151,000	87,988,000
民間建築物（住宅以外）	—	125,000	173,021,000
公共建築物（住宅以外）	—	137,000	188,959,000
計	7,134,000	5,440,000	1,087,116,000

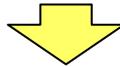
\*S55年以前に建築された建物で耐震工事を行っていないもの  
（公共建築物はS56以前）  
\*H20年現在の推計値（公共建築はH20年度末）

戸建住宅以外は約41万棟



◇耐震工事に関わる建設需要を予測するに当たり考慮すべき事項

- ・老朽化が進行しており取壊しを選択する  
⇒H10年～H20年の10年間で、共同住宅46%、住宅以外の民間建築45%が減少している。（公共建築は7%減少。）
- ・耐震性がなくても耐震工事を行う意向を持たないオーナーが存在する  
⇒分譲マンション45%、ビルオーナー企業保有ビル23%について、所有者等は耐震確保されていないにも関わらず耐震工事の実施に消極的ないし無関心。



◇上記要因を考慮した耐震工事需要の対象となる建物ストック（耐震工事予定等ありに分類）

	棟数	総延床面積	耐震工事額	
			当面	中長期
戸建住宅等	170万棟	2.2億㎡	2.4兆	3.7兆
共同住宅等	3.0万棟	3300万㎡	3000億	6000億
民間建築物（住宅以外）	3.1万棟	4600万㎡	5000億	6000億
公共建築物（住宅以外）	13万棟	1.8億㎡	1.8兆	
計	200万棟	5億㎡	5兆円～10兆円	

\*耐震工事額：戸建住宅は136万/戸、その他の建物は10.45千円/㎡（日本ビルダング協会連合会調査による）

戸建住宅以外は約20万棟

今月のトグルさん番外編

～名刺でボランティア活動～

E&CSでは、募金活動等を行う事で必要なワクチンの確保・感染症の完全予防の実現を目標に掲げるNPO法人「世界の子供にワクチンを日本委員会」(JCV)の活動に賛同し、名刺1箱の注文につき100円を募金する活動を始めました。



<編集後記>

梅雨が明け、暑さ厳しい夏がスタートしました。毎日のように耳にする「猛暑日」とは、1日の最高気温が35℃以上の日を表す用語として平成19年4月より気象予報用語として使われるようになりました。猛暑日におされ気味の「夏日」とは最高気温25℃以上、「真夏日」とは30℃以上の日。また「熱帯夜」とは夜間の最低気温が25℃以上の日です。もれなく本日も猛暑日で、熱帯夜になりそうです。

お問い合わせ

㈱E&CS トグル制震事業部  
e-mail: togglētuushin@toggle-ecs.com  
〒102-8332 東京都千代田区三番町2番地  
Tel 03-5276-2997 Fax 03-5276-2981